

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議題	先端大(NAIST)との連携
日時	令和7年8月26日(火) 10:00 ~ 11:15
場所	地下オンラインブースほか(市政顧問はオンライン参加)
出席者	市政顧問 副市長 SDGs・公民連携推進課長、CDO、企画政策課企画官
主な意見 (概要)	<p>ONAISTとの連携について、高山第2工区の立地企業誘致などについて、説明。</p> <p>○顧問の主な意見は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地企業の誘致について、データセンターの立地に関しては、単なるデータセンターでなく、AI特化型などの付加価値の高いデータセンターの誘致を検討することが重要。これにより、ロボティクスや製造業向けの最新技術の導入が促進され、製造業のサステナビリティを確保できる可能性がある。 NAISTのJ-PEAKSとの連携では、ASEAN5カ国との関係で国別の特性やニーズに合わせて展開することが重要。例えば、タイやインドネシアなど、各国の政策課題とリンクさせて現地の支援を得られる可能性がある。 <p>※J-PEAKS:地域中核・特色ある研究大学に対し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要な環境構築の取組を支援する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> IoT化やロボティクスの導入により、製造業の生産性向上や中堅企業の技術継承といった課題解決が期待される。20世紀に作った生産技術をどうやって継承し進化させるかという意味では、奈良と大阪の間にある生駒は、大阪のものづくり産業と1000年前の工芸、建築技術を継承してきた奈良の歴史と調和する場としてふさわしい。 外国人留学生や技術者の受け入れに関して、留学生のためのサポートプログラムや住みやすい環境の整備が必要。国内や他国的好事例を調査し、生駒市に適した取り組みを検討することが重要。